

4) その他の調査成績

(1) ヒメトビウンカ

A 調査目的

ヒメトビウンカの越冬世代ならびに第1世代の発生状況を明らかにし、縞葉枯病の防除対策の参考に資する。

B 調査方法

- a 越冬世代虫調査：水田の雑草地、畦畔の雑草地で、3月2日～17日に動力散布機を用い、吹き出し法により10㎡当りの生息数を調査した。
- b 第1世代虫調査：麦畑、水田の雑草地、飼料畑で、5月18日～24日に20回すくい取り法により生息数を調査した。

C 調査結果

第1表 ヒメトビウンカの越冬状況

調査場所	調査 月日	作物	10㎡ 当り平 均虫数	令別構成比率%			
				成虫	老令	中令	若令
佐世保市 俵ヶ浦	3. 2	水田雑草	2.1	0	7	67	26
		畦畔雑草	0				
諫早市 貝津	3.17	水田雑草	0.4	23	31	46	0
大村市 今村	3.11	畦畔雑草	0				
		水田雑草	1.3	100	0	0	0
	3.11	"	0				
松浦市 志佐	3. 2	"	0.3	0	0	100	0
		畦畔雑草	1	0	0	100	0
大瀬戸町 雪ノ浦	3.17	水田雑草	3.1	61	20	19	0
高来町 湯江	3. 2	畦畔雑草	2.6	18	50	6	0
吾妻町 牛口	3.17	"	0.2	0	50	25	25
県 平 均			1.2	39	19	37	5

第2表 5月中下旬のヒメトビウンカの発生状況

調査場所	調査 月日	作物	20回 振り平 均虫数	令別構成比率%			
				成虫	老令	中令	若令
佐世保市 宮	5.24	小 麦	26.0	8	33	46	13
諫早市 貝津	5.18	"	5.3	0	38	41	21
" 長野	5.20	"	7.3	4	38	44	14
大村市 今村	5.19	"	7.6	0	53	31	16
" 鈴田	5.19	イ科雑草	20.0	0	50	40	10
松浦市 御厨	5.24	小 麦	23.5	0	32	49	19
大瀬戸町 雪の浦	5.20	"	24.0	0	5	54	41
吾妻町 布江	5.20	"	4.1	0	14	65	21
有家町 中須川	5.18	"	32.8	1	20	52	27
有家町 身延	5.18	"	24.5	0	21	53	26
石田町 池田	5.23	"	10.0	0	44	39	17
美津島町 加志	5.23	イリソ	3.3	0	9	71	20
上県町 飼所	5.24	小 麦	7.4	3	13	46	38
県 平 均			15.1	1	28	49	22

(2) スクミリングガイ

目 的：スクミリングガイの発生、被害、防除状況の把握

調査方法：農協、市町村への聞き取り

作物名	市町村名	発生程度別面積 (ha)					被害状況別面積 (ha)			備 考
		甚	多	中	少	計	収量品 質に影響	植替ま たは補 植	計	
水 稲	佐世保市崎岡			4		4	0	0	0	捕殺・薬剤防除
	〃 江上		9	9	30	48	0	20	20	捕殺・薬剤防除
	島原市新山			1	2	3	0	0	0	薬剤防除
	諫早市小野	3	137	100	355	595	0	100	100	捕殺・薬剤防除
	〃 天満		2	8	20	30	0	15	15	捕殺・薬剤防除
	〃 長田	2	10	30	60	102	0	50	50	捕殺
	大村市今富		15	15	10	40	0	10	10	捕殺・薬剤防除
	福江市本山			26	50	76	0	50	50	捕殺・薬剤防除
	〃 福江		5	5	50	60	0	0	0	捕殺・薬剤防除
	平戸市根獅子			1	1	2	0	0.2	0.2	捕殺
	多良見町大草			2	3	5	0	1	1	捕殺・薬剤防除
	西彼町中山				0.3	0.3	0	0	0	捕殺
	東彼杵町一本松				1	1	0	0	0	捕殺
	〃 河内				1	1	0	0	0	捕殺
	川棚町上組			1	3	4	0	1	1	捕殺・薬剤防除
	森山町本村	10	125	122	90	347	0	250	250	捕殺・薬剤防除
	飯盛町開		3	12	20	35	0	7	7	薬剤防除
	高来町湯江			3	7	10	0	4	4	捕殺・薬剤防除
	〃 宇良			30	5	35	0	27	27	捕殺・薬剤防除
	瑞穂町大正				0.1	0.1	0	0	0	
	吾妻町守山		3	5	12	20	0	1	1	薬剤 防除
	〃 干拓		160			160	0	100	100	捕殺 薬剤防除
	愛野町小牟田			2	6	8	0	1	1	捕殺 薬剤防除
	千々石町下峰		20	20	30	70	0	30	30	捕殺
	加津佐町津波見			5	7	12	0	1	1	捕殺 薬剤防除
	〃 内野			10	50	60	0	2	2	捕殺 薬剤防除
	有家町			5	5	10	0	0	0	捕殺 薬剤防除
	布津町新田				2	2	0	0	0	
	佐々町神田		3	5	12	20	0	3	3	捕殺 薬剤防除
	合 計	15	492	421	832.4	1760.4	0	673.2	673.2	

(3) 大村市農業共済組合水稻病虫害調査成績

調査時期			葉いもち（発病株率）							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前	2.0	0	0	0	0	0	2.0	0
		後	8.7	0	0	0	0	0	0	0
	8	前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0

調 査 時 期			紋 枯 病 (発 病 株 率)								
年	月	期	三 浦	鈴 田	大 村	西 大 村	竹 松	萱 瀬	福 重	松 原	
94	7	前 後	0	0	0	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	前 後	0	0	0	0	0	29.3	0	0	
			0	1.3	0	0	0	40.7	0	0	
	9	前 後	0	0	0	0	0	20.0	0	0	
			5.3	14.7	5.3	0	0	36.7	0	0	
	10	前 後	0	0	0	0	0	36.7	0	0	

調査時期			白葉枯病（発病株率）							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	8	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	9	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			穂いもち（発病穂率）							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	9	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前	0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			もみ枯細菌病（発病穂率）							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	9	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前	0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			ツマグロヨコバイ（虫数／株）							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前後	0	0	0	0.26	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	8	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	9	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前後	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0.53	0.93	0.26	0.13	0	0	0

調査時期			セジロウンカ (虫数/株)							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前	0	0	0.33	0.2	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0.33	0	0.07	0
	8	前	0	0	0	0	0	0.2	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	1.2
	9	前	0.53	0.07	0	0	0	0	0.53	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前	0	0	0.73	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
		前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			トビイロウンカ (虫数/株)							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前	0.13	0	0	0	0	2.67	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0.13
	8	前	0	0	0.2	0	6.67	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
	9	前	0	0	0	0	0	0	0	0.67
		後	0	0	0	0.07	0	0	0	0.67
	10	前	0	1	0.73	0.6	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
		前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			コブノメイガ (葉巻株率)							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前	5.3	8.7	0	9.3	0	0	2.0	0
		後	17.3	24.7	0	0	3.3	7.3	0.7	2.7
	8	前	1.3	0	0	0	100	71.3	4.0	20.0
		後	0	22.7	0	8.0	100	100	14.0	8.0
	9	前	0	7.3	8.0	3.3	100	48.6	0	0
		後	6.7	14.7	6.7	0	0	0	0	0
	10	前	0	0	0	0	4.0	8.7	2.7	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
		前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			コブノメイガ (成虫数/10㎡)							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	7	前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	26	24	0	0	0	38	2	7
	8	前	0	0	0	0	100	6	0	3
		後	5	23	0	0	33	59	23	5
	9	前	0	0	28	9	20	12	0	0
		後	15	21	18	1	0	0	0	0
	10	前	7	0	16	13	9	16	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
		前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0

調査時期			カメムシ類 (虫数20回振り)							
年	月	期	三浦	鈴田	大村	西大村	竹松	萱瀬	福重	松原
94	9	前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	前	0	0	0	0	0	0	0	0
		後	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) イネ葉枯症の原因究明と対策

目 的

県北部の標高が高い地域に発生が見られ、1993年に広範囲に確認された本症状の原因を究明するとともに防除対策を模索する。

方 法

- ・試験場所

佐世保市菰田

- ・試験方法

昨年発生が多かった圃場において、本症状が見られる前の8月5日に、水稻に登録のある薬剤（ブラシン粉剤、ラブサイドベフラン粉剤）を4 kg/10a散布した。

試験圃場は同一地区2ヶ所設置し、それぞれ1区350㎡、250㎡反復無しで行った。

- ・調査方法

イネ褐色葉枯症に準じ、調査を行う予定であったが、散布後4週間以上経過してようやく一部に本症状が見られる程度の発生であった。無処理区には発生は見られなかったため調査は行わなかった。

結 果

本年は異常な高温、少雨という特異的な気象条件であったため、本試験結果のみで病害かどうかの判断をするのは困難である。

糸状菌の関与については再検討が必要である。

(5) 選果場におけるみかん果実病害虫調査成績

- ・調査時期及び対象品種：平成6年11月、早生種
- ・調査数：1選果場当たり生産者5戸、1生産者当たり100個の果実を調査

選果場	そうか病		黒点病		かいよう病		灰色かび病		すす病		ヤノ初カラムシ		マカハムシ類	
	発病率	発病度	発病率	発病度	発病率	発病度	発病率	発病度	発病率	発病度	寄生率	被害度	寄生率	被害度
多良見	0	0	52.0	15.4	0	0	11.6	3.4	0	0	0	0	1.4	0.5
長与	3.2	1.3	42.2	12.7	1.2	0.4	15.2	5.0	0	0	0	0	2.0	0.9
琴海	0.8	0.5	80.8	30.3	0	0	6.8	2.5	0	0	0	0	0.2	0.2
大西海	0	0	52.8	15.9	0.2	0.1	15.0	5.4	0	0	0	0	0	0
諫早	0	0	16.8	4.9	0	0	4.8	1.6	0	0	0	0	0	0
北高	0	0	45.8	12.3	0	0	13.4	4.4	0	0	0	0	1.0	0.4
大村	0.6	0.2	47.8	17.1	0	0	12.8	5.0	0	0	0	0	2.0	0.5
東彼	0	0	34.8	10.2	0	0	8.0	2.6	0	0	0	0	0.2	0.1
南高	0.6	0.2	33.8	11.4	0.6	0.2	7.2	2.9	4.0	1.4	1.0	0.4	0.2	0.1
大雲仙	2.2	0.7	35.8	11.8	1.2	0.5	6.6	2.5	0.8	0.3	0	0	30.2	18.6
させぼ	0	0	11.8	3.2	0.4	0.1	15.0	4.2	0.4	0.1	0	0	0	0
松浦	0.4	0.2	19.8	5.5	0.8	0.3	6.0	1.7	0	0	0	0	0	0
県全体	0.7	0.3	39.5	12.6	0.4	0.1	10.2	3.6	0.4	0.2	0.1	0.03	3.1	1.8

選果場	訪花性害虫		スリップス果梗		スリップス果頂		ハダニ		ヒゲダニ		カミシ		風ずれ	
	被害率	被害度	被害率	被害度	被害率	被害度	被害率	被害度	被害率	被害度	被害率	被害度	被害率	被害度
多良見	1.2	0.5	14.4	7.1	13.2	5.9	65.0	29.3	0.6	0.3	0.2	0.1	26.6	7.6
長与	2.0	0.7	18.6	7.9	21.2	8.6	36.0	14.6	0	0	1.0	0.7	38.6	14.0
琴海	1.6	0.6	5.0	1.9	7.6	2.9	18.2	7.4	0.6	0.3	0	0	63.8	22.7
大西海	1.2	0.7	9.0	3.9	7.0	2.5	24.2	11.2	0	0	0	0	65.8	19.7
諫早	1.0	0.5	9.0	3.6	9.8	3.7	58.6	21.1	0	0	3.4	1.4	39.0	11.6
北高	2.8	1.1	25.6	10.8	35.8	15.4	45.6	17.4	0	0	1.2	0.6	39.0	13.4
大村	3.0	1.8	13.4	5.3	16.4	6.2	7.0	2.5	0	0	0	0	59.0	22.3
東彼	0.6	0.3	12.2	4.9	4.4	1.5	0.4	0.1	0	0	0	0	40.2	12.6
南高	1.8	0.9	11.2	5.2	7.8	3.3	29.2	12.7	0	0	0	0	45.4	14.8
大雲仙	1.6	1.1	19.2	7.8	12.8	4.5	25.0	12.3	0	0	0	0	60.4	20.8
させぼ	7.2	2.9	8.0	3.6	4.6	1.9	4.8	1.7	1.0	0.3	0.4	0.3	35.4	10.0
松浦	1.0	0.3	2.2	0.8	2.2	0.8	0.2	0.1	0	0	0	0	25.2	7.6
県全体	2.1	1.0	12.3	5.0	11.9	4.8	26.2	10.9	0.2	0.1	0.5	0.3	44.9	14.8

(6) ハウスみかんにおける病害虫の発生と防除指導

・対象集団

集 団 名：北高ハウスみかん研究会（J A北高管内）

※5～6年度病害虫総合管理集団育成事業対象集団

生産者数：15名（22園）

加温面積：2.6ha

・病害虫の発生状況

月 日	病害虫名	発生圃 場数 ¹	発生 程度	備 考
1月20日	菌核病 ミカンハダニ	1/22 0/22	甚 －	・数日前に2カ所でハダニの発生を認め、防除を実施
2月21日	ミカンハダニ	3/21	－	・数カ所でハダニの発生を認め、防除を実施
3月23日	ミカンハダニ ヒラカカガラムシ	3/21 1/21	－ －	
4月19日	ミカンハダニ	3/22	－	・3カ所でハダニの発生を認め、防除（DDVPくん煙）を実施
5月23日	黒点病 灰色かび病 ミカンハダニ	0/8 0/8 2/8	－ － 多、少	
6月 9日	黒点病 灰色かび病 ミカンハダニ アブラムシ類	1/16 1/16 6/16 1/16	中 少 少～多 －	・ハダニ発生園では果実寄生も認められた ・ユキヤナギアブラムシの発生が認められた

＊：1～4月は聞き取り調査による

・指導実績

月 日	会議の名称	指導事項	出席者
6年1月20日 2月21日 3月23日 4月19日 5月23日 6月 9日	定例会 定例会 定例会 定例会 定例会 現地研修会	菌核病の防除について ハダニの防除について ハダニの防除について ハダニの生態及び防除について （資料提出）	生産者 農協指導員 普及センター 病害虫防除所

(7) ハウスびわにおける病害虫の発生と防除指導

・対象集団

集 団 名：J A いさはやハウスびわ部会

※6～7年度病害虫総合管理集団育成事業対象集団

生産者数：14名

加温面積：2.1ha

・病害虫の発生状況

月 日	病害虫名	発生圃場数	発生枝葉率
9月14日	がんしゅ病	1/6	2/20 (樹)
	灰斑病	4/6	1/50, 2/50, 1/50, 4/50
	褐斑病	0/6	
	ナシヒメジキイ	0/6	
	ナシマルカガラムシ	1/6	1/200
	アブラムシ類	1/6	2/50
	ハマキ類	1/6	3/50
	赤芽 (新葉の変色, 硬化)	2/6	4/50, 2/50
10月 6日	がんしゅ病	0/5	
	灰斑病	4/5	4/50, 11/50, 1/50, 4/50
	褐斑病	0/5	
	ナシヒメジキイ	0/5	
	ナシマルカガラムシ	0/5	
	アブラムシ類	2/5	2/50, 1/50

・指導実績

月 日	会議の名称	指導事項	出席者
6年 6月13日	定例会	アブラムシ類の防除について	生産者 農協指導員 普及センター 病害虫防除所
8月11日	定例会		
9月14日	定例会		
10月 6日	定例会	スリップス類の防除について	

(8) ジャガイモ疫病の一斉調査

・目的

ジャガイモ疫病の発生を調査し、防除対策の参考に資する。

・調査方法

平成6年4月20～21日に1圃場100～300株について下記の調査基準に基づいて調査し、発病度を算出した。

A：葉はほとんど（3/4以上）枯死し、ときには茎部も枯死する。

B：ほとんどの葉（3/4程度）が発病し、枯死葉がかなり多く（1/2程度）見られる。

C：ほぼ半数の葉が発病し、ときには一部の葉が枯死する。

D：1/4程度の葉が発病する。

E：発病なし。

$$\text{発病度} = \frac{4A + 3B + 2C + D}{4 \times \text{調査株数}} \times 100$$

・調査結果

ジャガイモ疫病の発生状況

市町村名	調査圃場数	発生圃場率	発病株率	発病度
		%	%	
諫 早 市	16	0	0	0
飯 盛 町	70	1.4	0.01	0.004
有 明 町	20	0	0	0
国 見 町	6	0	0	0
瑞 穂 町	12	0	0	0
吾 妻 町	6	0	0	0
愛 野 町	70	2.8	0.03	0.009
小 浜 町	19	0	0	0
南串山町	14	0	0	0
加津佐町	19	10.5	1.63	0.43
口之津町	21	9.5	0.76	0.29
南有馬町	27	14.8	0.33	0.16
北有馬町	8	0	0	0
西有家町	4	0	0	0
有 家 町	10	0	0	0
平 均		3	0.2	0.06

(9) マメハモグリバエ

・調査目的

マメハモグリバエの発生、被害状況を把握し防除対策の参考とする。

・調査方法

発生を確認した主な地点を選んで、その後の経過を調査した。

・調査結果

a) 吾妻町

調査時期	作物	面積	被害株率	被害葉率	100葉当り 食害痕数	成虫寄 生株率	幼虫寄 生葉率	100葉当り 幼虫数
94.4.18	ナシA	17 a	0 %	0 %	0	0 %	0 %	0
	ナシB	17	0	0	0	0	0	0
	ナシC	14	0	0	0	0	0	0
	ナシD	13	0	0	0	0	0	0
	ナシF	17	0	0	0	0	0	0

b) 千々石町

調査時期	作物	面積	被害株率	被害葉率	100葉当り 食害痕数	成虫寄 生株率	幼虫寄 生葉率	100葉当り 幼虫数
94.4.18	ミントトA	10 a	—	2 %	2	0 %	1 %	1
	ミントトB	10	—	2	3	0	1	2
	ミントトC	10	—	3	4	0	2	2

c) 佐世保市

調査時期	作物	面積	被害株率	被害葉率	100葉当り 食害痕数	成虫寄 生株率	幼虫寄 生葉率	100葉当り 幼虫数
94.5.2	ナシA	22 a	0 %	0 %	0	0 %	0 %	0
	ナシB	17	0	0	0	0	0	0
	ナシC	30	0	0	0	0	0	0
	ナシD	10	4	2	3	0	1	1
	ナシE	17	35	21	70	0	1	2
	ガーベラF	2	-	2	11	0	1	1
	ガーベラG	2	-	92	1380	0	53	123
94.6.3	ナシA	22 a	25 %	7 %	11	0 %	1 %	1
	ナシB	17	9	0	2	0	0	0
	ナシC	30	2	0.5	0.5	0	0.25	0.2
	ナシD	10	3	1	1	0	0	0
	ナシE	17	94	45	130	31	21	31
	ガーベラF	2	-	50	140	0	1	1
	ガーベラG	2	-	98	1551	0.5*	16	20

(注) *ガーベラについては寄生葉率

d) 琴海町

調査時期	作物	面積	被害株率	被害葉率	100葉当り 食害痕数	成虫寄 生株率	幼虫寄 生葉率	100葉当り 幼虫数
94. 4. 7	ミントマA	5 a	—	0 %	0	0 %	0 %	0
	ミントマB	10	—	16	20	0	0	0
	ミントマC	10	—	15	21	2	0	0
	ミントマD	10	—	34	59	0	23	37
	ミントマE	10	—	49	152	0	15	18
	ミントマF	10	—	0	0	0	0	0
	ミントマG	10	—	5	12	0	1	1
	ミントマH	10	—	4	5	0	0	0
	ミントマI	10	—	0	0	0	0	0
	ミントマJ	10	—	0	0	0	0	0
	ミントマK	10	—	0	0	0	0	0
94. 6. 6	ミントマB	10 a	—	1 %	2	0 %	0 %	0
	ミントマC	10	—	0.2	0.2	0	0	0
	ミントマD	10	—	30	86	17	1	1
	ミントマG	10	—	8	8	0	3	3
	ミントマH	10	—	11	13	0	1	1

注) 作物のアルファベット文字は各1ハウスで前年度実績書から継続している